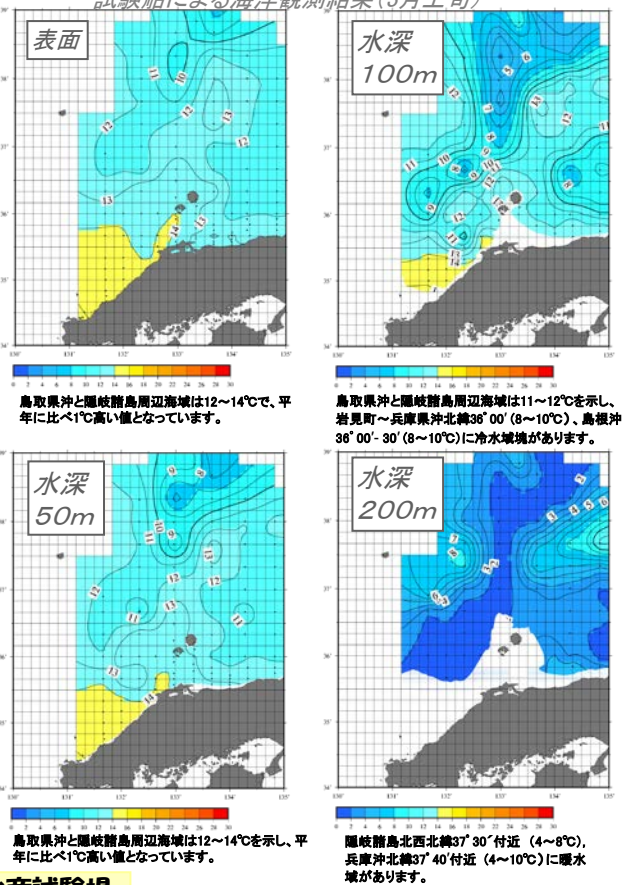
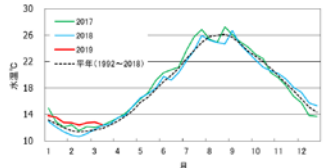




鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

3月中旬 12.5°C
平年より約0.6°C高め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は12～14°Cで、平年に比べて高い値となっています。

鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は11～12°Cを示し、若見町～兵庫県沖北緯36°00' (8～10°C)、鳥根沖36°00'～30' (8～10°C)に冷水域があります。

鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は12～14°Cを示し、平年に比べて高い値となっています。

隠岐諸島北西北緯37°30'付近 (4～8°C)、兵庫沖北緯37°40'付近 (4～10°C)に暖水域があります。

3月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水 隠岐周辺の冷水	鳥根沖36°00'～30'以北に認められ、一部が北緯35°40'に冷水域を形成 隠岐諸島北西北緯36°30'付近にも冷水域が認められます。
山陰若狭冷水	岩美町～兵庫県沖北緯36°10'に認められます。
沖合の対馬暖流	主流は朝鮮半島に沿って北上し、北緯38°以北を流れています。分流が、鳥根県沖冷水域の周囲を流れ、山陰若狭冷水に沿って東方に流れていると推測されます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★境港水産事務所からのお知らせ★

境港地方卸売市場のシンボルマーク・キャッチフレーズが決定!

- ・境港高度衛生管理化に向け、PR活動に活用するためのシンボルマークとキャッチフレーズの募集を行い、最優秀賞、優秀賞が決定しました。
- ・最優秀賞に選ばれた作品は、新市場をPRするためのポスター、のぼりなどに使用します。



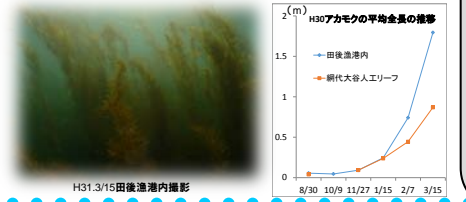
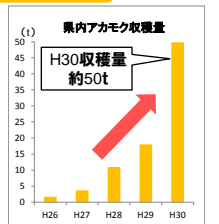
最優秀賞	優秀賞
<h3>安心と安全が、進化するみなと</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ・新時代へ!羽ばたく、誇れる 先進市場。 ・境港、生まれ変わります! ・市場革命!安心・安全・新鮮さがいみなと海の幸 ・全国有数、安心市場、高度な衛生、海の幸 ・海と笑顔でさかえる市場

栽培漁業センター

アカモクの収穫時期が近づいてきました

栽培漁業センターではH24年度より未利用な海藻の利用や、増殖手法について調査・研究を行ってきました。なかでも健康食品として全国的に注目を集めるアカモクは本県でもその利用が急速に進んできています。

3月15日に東部(田後漁港内・網代大谷入エリーフ)で漁場調査を行い、今期も順調に生育するアカモクが確認されました。現時点では粘り成分のアカモクの1～3割程度で、収穫適期は4月上旬頃になると考えられます(漁場内の9割以上で生殖器床が形成されれば収穫適期)。



アカモク資源を維持するため根本から刈り取るのではなく、生殖器床の半分程度を残して刈り取ってください(目安としては、主に水面に浮いている部分を刈り取る)。収穫方法、収穫適期等についてご不明な点があれば当センターまでご連絡ください。

水産試験場

平成30年度第2回境港地区漁況連絡会議及び第39回JAFIC漁業情報研究会を開催しました

平成31年3月19日に境港商工会議所大ホールにて、境港地区の水産関係者を対象に水温や潮流などの海洋環境、アジ・サバ・イワシなどの浮魚、スワイガニ等を含む底魚類の漁獲状況や今後の漁模様に関する報告を行いました。

今回は(一社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)と共催し、JAFICからは対馬暖流域や日本周辺における浮魚類の漁況と海況について報告がなされました。試験場担当から以下のとおり各魚種について今後の漁の見通しを報告しました。多くの方にご来場頂きありがとうございました。



会議の様子

項目	予報
海況	今後3ヶ月の海況は、沿岸域を通る対馬暖流の分流量が前年に比べ弱く、鳥根沖冷水域、山陰若狭冷水域共に、離岸傾向を示す。
浮魚類	スルメイカ 資源量が少なく、求道量は不漁だった前年並み。また、沿岸域を通る対馬暖流の分流量が前年と比べて弱く、山陰・若狭冷水が離岸傾向を示すため漁獲量は平年を下回り、前年並みの見込み。
	マアジ 主体の1歳魚(2018年級群)は、加入量調査において低調であると見込まれ、実際の水揚げも少ない状況である。前年・平年を下回る水揚げとなる見込み。
	マサバ 4月もある程度獲れるが、平年をやや上回る程度(4～9月は盛産期ではない)。
	マイワシ 資源量は向上したが、鳥根沖および山陰若狭冷水の発達が不十分で離岸傾向となり海況が良くなさそう。水揚げは前年並み。
クロマグロ 漁場形成される海域によるが、加入水準が比較的良好な3歳(30kg台)と生き残りが良い4歳魚(60kg前後)を主体に前年並の漁獲。	
底魚類	ベニズワイガニ 資源水準は中位、動向は減少。資源は低迷した状況が続く。小銘柄が主体
	ズワイガニ 前年を下回る(今漁期から漁獲可能性が更に削減される見込み)
	ハタハタ 前年を上回る
	アカガレイ 前年を上回る～前年並み
	ソウハチ 前年並～前年を上回る
	マダラ 前年並

平成30年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX:0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町6番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330